



## 平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年9月24日

上場会社名 株式会社 セキド  
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭

TEL 03-6279-0562

四半期報告書提出予定日 平成22年10月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年2月21日～平成22年8月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	9,951	3.8	△193	—	△201	—	△231	—
22年2月期第2四半期	9,583	—	△223	—	△230	—	△271	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	△16.34	—
22年2月期第2四半期	△19.15	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	9,965	5,326	53.5	375.69
22年2月期	10,455	5,578	53.4	393.41

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 5,326百万円 22年2月期 5,578百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	1.00	1.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	10.6	120	223.3	100	248.8	50	49.2	3.53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年2月期2Q	14,204,289株	22年2月期	14,204,289株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	25,556株	22年2月期	25,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年2月期2Q	14,178,807株	22年2月期2Q	14,179,381株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しては、【添付資料】P.3 「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	8
商品別販売実績 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の回復傾向が見られる反面、厳しさを増す雇用環境の影響により個人消費の本格的な回復には至らず、引き続き低調に推移いたしました。

当業界におきましても、家電エコポイント制度による特需と猛暑による季節商品の増収効果は見られましたが、これを除けば、先行きの不透明感は依然強く、総じて厳しい状況でありました。

このような状況のもと、当社は、増収増益に向けた営業戦略への取り組みを行ってまいりました。まず、新規店舗をファッション部門で2店舗、家電部門で1店舗出店いたしました。既存店においては、顧客データベース・マーケティングによる販促費の効率化を図るとともに、顧客の囲い込みに注力いたしました。

さらには、間接部門の人員配置の見直しと直接部門も含めた給与体系の見直しを実施し、専門店にとって最も重要な経営資源である従業員スタッフが、能力を発揮しやすい環境の整備を行っております。なお、第2四半期には本社を八王子市から新宿区に移転いたしました。今後、都心型の店舗開発に取り組み、ポテンシャルの高い都心マーケットへの参入に備えるとともに、仕入先等のお取引先とのコミュニケーションをより深め、お客様への質の高い商品提案やサービスの提供を行ってまいります。

これらの取組みの結果、売上高は9,951百万円（前年同期比3.8%増）、営業損失は193百万円（前年同期は223百万円の営業損失）、経常損失は201百万円（前年同期は230百万円の経常損失）、四半期純損失は231百万円（前年同期は271百万円の四半期純損失）となりました。

商品部門別の概況は次のとおりであります。

#### [家電部門]

家電部門においては、エコポイント制度による特需と猛暑による季節商品の増収効果、オール電化関連商品や太陽光発電システムの需要拡大が功を奏し、売上高は4,468百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### [ファッション部門]

ファッション部門においては、前事業年度第2四半期以降に実施した7店舗の出店と4店舗の閉鎖により、売上高は5,386百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

#### [その他]

その他の部門では、売上高は95百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ489百万円減少し9,965百万円となりました。これは主に、新規店舗3店舗の出店およびボーナス商戦に向けた仕入によりたな卸資産が548百万円増加したものの、前事業年度の期末日が金融機関の休業日であった影響と新規店舗の在庫仕入に伴い現金及び預金が1,296百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は前事業年度末に比べ238百万円減少し4,638百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、仕入債務が380百万円、未払金が59百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ251百万円減少し、5,326百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上231百万円と利益剰余金の処分14百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は53.5%（前事業年度末は53.4%）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1,319百万円減少し、489百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果減少した資金は1,425百万円となりました。これは主に、税引前四半期純損失218百万円の計上、たな卸資産の増加548百万円および仕入債務の減少503百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は237百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得125百万円、無形固定資産の取得60百万円および差入保証金の差入48百万円の支出によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果取得した資金は342百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額395百万円、長期借入金の返済30百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては修正しておりません。顧客データベースを駆使した効率的な販促を行うことで、売上高の確保を目指してまいります。当社の業績は第2四半期並びに第4四半期会計期間のウェートが高くなっております。引続き厳しい環境が続くものと推測されますが、セキドとラブラブのお客様ひとり一人のニーズに応えられるきめの細かな販促と接客を徹底し、上半期のマイナスを取戻し、通期業績の黒字を確保してまいり所存であります。

なお、平成22年4月2日に公表した配当予想についても変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	749,350	2,045,802
売掛金	667,917	645,601
商品	4,576,279	4,027,483
その他	511,338	467,970
貸倒引当金	△30,751	△22,982
流動資産合計	6,474,134	7,163,874
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	383,440	332,231
土地	854,400	854,400
その他(純額)	193,863	152,155
有形固定資産合計	1,431,703	1,338,786
無形固定資産		
投資その他の資産	159,558	110,083
敷金及び保証金	1,788,456	1,726,951
その他	111,920	115,691
投資その他の資産合計	1,900,377	1,842,643
固定資産合計	3,491,639	3,291,513
資産合計	9,965,774	10,455,388
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	139,473	202,405
買掛金	529,566	846,776
短期借入金	2,455,000	2,060,000
未払金	462,764	522,102
賞与引当金	26,910	—
ポイント引当金	160,964	153,396
その他	172,087	336,629
流動負債合計	3,946,766	4,121,310
固定負債		
長期借入金	175,000	205,000
退職給付引当金	265,017	306,509
役員退職慰労引当金	116,100	111,930
繰延税金負債	9,214	9,325
その他	126,899	123,262
固定負債合計	692,231	756,027
負債合計	4,638,997	4,877,338

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,979,932	2,979,932
資本剰余金	2,568,749	2,568,749
利益剰余金	△212,279	33,512
自己株式	△3,838	△3,827
株主資本合計	5,332,564	5,578,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,787	△316
評価・換算差額等合計	△5,787	△316
純資産合計	5,326,776	5,578,050
負債純資産合計	9,965,774	10,455,388

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
売上高	9,583,134	9,951,046
売上原価	7,204,507	7,511,753
売上総利益	2,378,627	2,439,292
販売費及び一般管理費	2,602,189	2,632,649
営業損失(△)	△223,562	△193,356
営業外収益		
受取利息	7,761	6,308
受取配当金	1,457	1,283
その他	5,324	4,512
営業外収益合計	14,543	12,104
営業外費用		
支払利息	19,895	19,579
その他	2,061	896
営業外費用合計	21,956	20,476
経常損失(△)	△230,975	△201,727
特別利益		
新株予約権戻入益	2,850	—
その他	28	—
特別利益合計	2,878	—
特別損失		
たな卸資産評価損	18,630	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,200	—
その他	1,269	16,438
特別損失合計	32,100	16,438
税引前四半期純損失(△)	△260,197	△218,165
法人税、住民税及び事業税	11,367	13,557
法人税等調整額	13	△111
法人税等合計	11,381	13,446
四半期純損失(△)	△271,579	△231,612



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△260,197	△218,165
減価償却費	54,807	72,092
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△62,957	26,910
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,197	7,568
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	12,200	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,964	7,768
受取利息及び受取配当金	△9,218	△7,592
支払利息	19,895	19,579
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,111	△5,012
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△221,973	△548,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	32,570	△503,988
未払金の増減額 (△は減少)	28,274	△160,605
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74,905	△81,560
その他	△27,586	6,278
小計	△557,434	△1,385,525
利息及び配当金の受取額	8,337	5,321
利息の支払額	△19,485	△20,213
法人税等の支払額	△23,167	△24,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	△591,750	△1,425,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△18,000	△58,000
定期預金の払戻による収入	600,441	34,500
有形固定資産の取得による支出	△25,553	△125,440
無形固定資産の取得による支出	△10,378	△60,799
差入保証金の差入による支出	△50,713	△48,829
差入保証金の回収による収入	72,778	22,519
貸付けによる支出	△15,000	—
貸付金の回収による収入	—	10,000
その他	—	△11,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	553,574	△237,752
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,106,668	395,000
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△63,280	△30,000
配当金の支払額	—	△13,767
設備関係割賦債務の返済による支出	△15,017	△8,297
その他	△57	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△885,023	342,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△923,195	△1,319,952
現金及び現金同等物の期首残高	1,380,214	1,809,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	457,018	489,350

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別販売実績

事業部門別	金額 (千円)	前年同期比 (%)
家電部門		
一般家電	1,485,913	98.5
AV家電	1,349,901	107.5
季節家電	976,597	110.7
情報家電	582,806	87.2
その他	73,576	89.3
小計	4,468,794	101.6
ファッション部門		
貴金属	834,500	92.5
時計	1,312,141	113.5
バッグ・雑貨	3,089,822	109.3
ファッション衣料	150,459	74.4
小計	5,386,924	105.9
その他	95,327	97.8
合計	9,951,046	103.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 事業部門と商品群の対応関係は、以下のとおりであります。

家電部門

一般家電…冷蔵庫、調理家電、洗濯機、クリーナー、理美容器具、照明機器、部品・修理収入等

AV家電…ラジカセ・オーディオ機器、ビデオ関連機器、テレビ等

季節家電…冷・暖・空調機器及び関連工事収入等

情報家電…パソコン、携帯電話等

その他…ゲーム機器・ソフト、受取保証料

ファッション部門

貴金属…指輪、ネックレス、イヤリング、喜平等

時計…腕時計、掛置時計、喫煙具等

バッグ・雑貨…ハンドバッグ、財布、ベルト、メガネ等

ファッション衣料…スーツ、ジャケット、コート等

その他…テナント収入等

※ フランチャイズ売上高は、家電部門の各商品群に含めて表示しております。